



読書とマンガと私

校長 前田 浩二

私が覚えている本との出会いは、4歳ぐらいだと思います。母が毎月1回本屋さん連れて行って、欲しい図鑑を1冊だけ買ってくれました。今月は昆虫の図鑑にしようか、いや乗り物にしようかと選ぶ楽しみがありました。それが小学校入学まで続き、かなりの冊数になりました。セットでどんと買ってもらうことなく本当に良かったと思います。きっと、うんざりしていたに違いありません。

小学校に入学すると、図書室に通うのが楽しみで、1日1冊ぐらいのペースで本を借りました。本当に読書大好き少年でした。

そんな読書三昧な生活を一変させる出来事がありました。4年生のある日、腹痛が続いたため病院で調べてもらおうと、虫垂炎だということがわかりました。すぐに手術を行い、1週間程度入院することになりました。お見舞いにくさんの同級生が来てくれたのですが、来る人来る人、マンガの本を携えてきました。入院生活は退屈だろうという優しい心遣いだったのですが、読書大好き少年は、たちまちマンガ大好き少年へと変貌してしまいました。退院してもマンガ熱は冷めず、小遣いはすべてマンガ購入に費やし、家の中にもみるみるマンガが増えていきました。いつしか蔵書数で同級生を圧倒し、マンガに囲まれた生活となりました。

しかし、おごれる人も久しからず、そんな繁栄も長くは続きません。マンガに狂う息子に業を煮やした母がついに「マンガ禁止」の命令を下しました。すでに300冊を超えていた宝物たちは、一夜にして灰となってしまいました。

そこからまた、活字に慣れ親しむ生活が再スタート。中学校では星新一や筒井康隆といったSF小説にのめりこみ、高校では夏目漱石の歯切れの良い短い文体に憧れ、純文学の世界へと。そして、大人になってからは司馬遼太郎、池波正太郎などの時代小説を多く読むようになりました。

振り返ると、あのとき母がマンガを止めてくれたおかげで、国語教師を目指すことができたと思います。しかし、マンガをすべて否定するつもりはありません。なぜなら、あるマンガ作品に強い影響を受けたからです。それは桃源郷という言葉の由来ともなった中国古典文学の「桃花源記」をモチーフに描かれた作品でした。それを読んでからというもの、中国文学の世界に憧れ、大学では漢文学を専攻。さらに「桃花源記」の作者の「陶淵明」の詩について研究し、卒業論文まで書きました。まさにマンガをきっかけとした漢文学との出会いです。だから、読書もマンガも、私というものを作ったかけがえのないものなのです。

本校では、3月に年間の多読者が表彰されます。誰がどれだけ本を読んでいるのか楽しみです。そして、これからも読書大好き少年少女が、たくさん誕生することを願っています。

立神の如く

逃げるな！

2年1組担任・数学担当 前田 卓朗

「英語なんて役に立たない」英語が苦手だった学生の頃の自分は、毎日のようにそう自分に言い聞かせていました。そんな自分に、英語力がつくはずはありません。

高校の時は、平均点数の半分の点数に満たない、いわゆる「赤点」をとり、大学でも同級生は2年生までに終わっている英語の授業を4年生まで受ける羽目に。とにかく、英語は自分にとって「まったく必要としないもの」でした。

ところが大学4年になり、そろそろ就職について考え始めた頃、大学の先生から「イギリスにある日本人学校で数学の教員を募集している」という情報が。まだ、鹿児島に戻りたくなかった（東京にいました）自分は、何の躊躇もなく、その学校の採用試験（面接のみ）を受け、採用されることに。授業は日本語なので問題ありませんが、日常の生活は英語力がないために、ほんとに悲惨なものでした。

さすがに2年間も生活していれば、英語の重要性に気づきましたが、それ以上に学んだことは、「何が役に立つかわからない」ということでした。

できないことを理由に、必要ないと言い訳をしていた学生時代の自分。その頃の自分に一番伝えたい言葉です。

鹿児島学習定着度調査(1月16日・17日実施)

今年度も1・2年生対象に鹿児島学習定着度調査が行われました。この調査は、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学力の状況及び生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握するとともに、全県的な傾向との比較・分析などを通じて、各学校が自校の課題を明確にし、問題解決的な学習を取り入れるなど、教員の指導法を改善し、生徒の学力向上を図ることを目的に行われています。

現在学校では、調査の採点を行い、定着が不十分であった学習内容の復習等を進めています。正式な結果は、3月中旬に県から発表されますので、学校だより等でお知らせします。

鹿児島県中学校音楽コンクール「春の祭典」 You Can Fly!

1月19日(土)、鹿児島市の宝山ホールで行われた「春の祭典」に、学校代表として2年2組のみなさんが出演しました。合唱曲は、『You Can Fly!』大きな舞台上で堂々と力を出し切り、そして何よりも楽しそうに合唱していた姿がすばらしかったです。きっとたくさんの感動を味わったことと思います。

金賞はとれませんでしたでしたが、協力して練習を積み重ねて徐々に上達できたこと、その成果を発表できたことに達成感を抱いた生徒が多かったようです。今回の取組を自信にして、さらに様々なことにチャレンジしてくれることを期待しています。

最後の読み聞かせ～3年生～



幼・保、小、中と長い間、ありがとうございました。

避難訓練<火災想定>



自助
共助
公助



初期消火訓練

国体応援のぼり旗作成

なぎなた競技で枕崎にいらっしゃる方々を温かくお迎えします。



受賞おめでとう!

第12回いちき串木野市柔道大会 中学生男子73kg以下級
第2位 天達 朝日(1年)

【3月の主な教育活動】

卒業生からの御寄付

2月4日(月)、第10期卒業生から寄付をいただきました。「立神中学校30歳会(同窓会)」で、母校のために集めてくださったそうです。この日、代表して、牧之段安奈さんが届けてくださいました。15年前の中学校の思い出なども話してくださいました。このように、いつまでも母校のことを大切に思っていてくださるたくさんの卒業生がいることを忘れずに、職員も在校生もがんばっていかねばと思います。

- 5日(火) 第3回青少年育成懇談会
- 6日(水) 公立高校入試(1日目)
- 7日(木) 公立高校入試(2日目)
- 8日(金) 1年生平和学習(知覧)
- 9日(土) 土曜授業
- 10日(日) 生涯学習フェスティバル
- 12日(火) 卒業式予行・準備
- 13日(水) 第25回卒業式
- 14日(木) 公立高校合格発表
- 15日(金) 青パトの日
市民あいさつ運動
- 25日(月) 修了式
- 26日(火) 辞任式(9:00～)
小中PTA合同送別会